

No. 27

10月号

令和6年
2024・9・20



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

主な参考資料：『新郷土日立 歴史』2007 日立市教育委員会

中世の城跡

特集

「大久保三城」が、なぜここに？



出典：Google マップに追加構成



太平洋までを一望できる天神山城跡からの絶景

茨城県教育委員会の事業として、2018年度から始まった「茨城県中世城館跡総合調査」が2023年3月に完了し、県域には1,135ヶ所の中世城館が分布することが明らかになりました。

茨城県の中世において、戦国大名となる佐竹氏をはじめ、多くの武将たちが群雄割拠し、統治した城館跡が各地に残されています。しかし、時間の経過で土塁は崩れ森林でおおわれ、また、開発破壊等でその所在を知ることは難しくなっています。

本市において現在、8つの中世城館跡が確認されています。北部の山尾城（十王町）と南部の大窪城（大久保町）が代表的な城館跡で、どちらの城主も佐竹氏の重臣です。山尾城は、小野崎通胤（通春）により築かれた山城で、山尾小野崎氏の本拠地となりました。現在城跡は十王中学校の敷地で、遺構はほとんど残っていません。

今回は、今でも多くの遺構が残る「大久保三城」を取り上げ紹介します。大窪城は、大窪氏の8代200年にわたる居城です。元々は、平氏一族の大塚宗幹が大窪山城を築城、15世紀頃、初代大窪茂光が、天神山城と大窪城を築きました。曹洞宗・正伝寺の西側に、急峻な地形を生かした山域に天神山城跡が広がり、山頂を中心に土塁と空堀を確認することがで

きます。標高126mの高台からは、助川から森山地区一帯を、また7km先の太平洋を一望でき、圧巻です。ここは、大窪城が攻撃された場合にたてこもるための詰城です。大窪城は、16世紀頃、天神山の東の台地に建造された平城で、大窪郷の統治の拠点（居城）となりました。周囲に堀をめぐるし、二の丸、三の丸としての遺構が、堀之内などの地名と共に残り、大窪氏の一族・家臣団屋敷跡と見られる遺構が現存します。

この地への築城の理由として、領主・佐竹氏の本城・太田城が攻撃されるなどの急を要する時は、山越えをすることで一気ににはせ参じることができる地であることが考えられます。

慶長7年（1602）、佐竹氏が秋田に転封された際に廃城となり、天保10年（1839）、本丸跡に水戸藩郷校（暇修館）が建てられました。

昭和48年（1973）、暇修館が復元され、生涯学習の拠点として生かされています。

子どもたちに郷土愛を育むには、過去を知る学びとして、視聴覚教材を活用するのが最適です。当センターには、オススメの作品として『大久保のいまむかし』、『鹿嶋神社と大久保』などがありますので、ぜひご活用ください。

山城跡に登り、往時の姿を実感されてはいかがでしょうか。



小川未明アニメーション童話集 ③ 負傷した線路と月

原作：小川未明 監督・永丘昭典
ナレーション：池田昌子 絵：古志野実
文部科学省選定

公開：2010年
時間：15分
貸出番号：1200853

「日本児童文学の父」小川未明生誕130年を記念し製作されたアニメーション童話集。機関車が通ったときに傷ついた線路、そして、それぞれの言い分を聞き自分のことのように悩む月の姿。絵本に近いゆっくりとした展開で、未明の優しさと切なさが描かれていて、とても心が安らぐアニメ作品です。

今月の
オススメ
後藤

